

## 辺野古新基地建設断念を求める決議

政府は2月24日の県民投票で示された沖縄県民の民意を尊重し、埋め立て工事の中止と辺野古への新基地建設を即時断念することを求める。

沖縄県知事が県民投票の結果を政府に通知した直後、政府は新たな護岸工事に着工し、さらに3月25日には新たな区域で埋め立てを行うとしている。県民の民意を無視して辺野古新基地建設を強行することは、民主国家として恥ずべき行為であり、断じて許すことはできない。日本が民主国家ならば国策の遂行が民意と無関係であってはならない。

大浦湾側には活断層があり、その付近の海底には、軟弱地盤が存在していることや、飛行空域が米国の安全基準である高さ制限に抵触している施設がある。

国土の約0.6%の沖縄県に米軍専用施設の約70%が集中していることは異常事態である。沖縄県民の負担軽減を行うならば、県民投票の結果を受けて、政府は米国政府と直接交渉し、辺野古新基地建設を断念し、オスプレイ配備撤回、世界一危険な普天間基地は即時運用停止を行い閉鎖すべきである。

私たちは、故翁長前知事が命を懸けて守り抜いた県民の「誇りと尊厳」を引き継ぎ、誇りある豊かさを実現させるまでたたかう。「新時代沖縄」の実現へ向け、沖縄県民の命とくらし、沖縄の地方自治と日本の民主主義と平和を守るためこの不条理に全力で抗い続ける。

以上のことを踏まえ、以下を決議し、日米両政府に対し強く抗議し要求する。

### 記

1. 県民投票で示された民意を尊重し、埋め立てを中止し辺野古への新基地建設を即時断念すること。
2. オスプレイ配備を撤回し、米軍普天間基地を即時運用停止し、閉鎖・撤去すること。

以上、決議する。

2019年3月25日

沖縄県国頭郡今帰仁村議会



宛先

内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方担当大臣、  
米国大統領、駐日米国大使